

## 【基地問題の解決と駐留軍用地の跡地利用】

米軍人・軍属等による事件・事故や日常的に発生する航空機騒音をはじめP F O S等の環境問題のほか、実弾射撃演習による原野火災など米軍基地に起因する相次ぐ事件・事故は、県民生活に様々な影響を与えております。

このような米軍基地から派生する諸問題を解決するため、日米地位協定の抜本的な見直しや、環境補足協定に係る環境事故の通報基準の見直し等を国に求めてまいります。

県としては、引き続きオスプレイの配備撤回を求めるほか、米軍機による事故等が発生した際、地元への通報が遅れる事案が度々発生していることから、連絡通報体制の検証、改善を求めるとともに、政府の対応に県の考えを反映させるため、政府、米軍及び沖縄県を構成員とする新たな協議会の設置などを国に求め、県民の懸念や不安の払拭を図ってまいります。

辺野古新基地建設問題については、これまでに小金井市議会や小平市議会等の地方議会で、国民的議論で問題解決を求める意見書等が採択されており、全国において沖縄の基地問題について議論が深まりつつあると考えております。

今後も、法令に基づく権限を適切に行使するほか、全国でのトークキャラバンによる情報発信を行うことなどにより、県民投票結果をはじめとする辺野古新基地建設に反対する県民世論及びそれを踏まえた県の考えを広く国内外に伝え、国民的議論を喚起し、理解と協力を促してまいります。



トークキャラバンで訪れた大阪で講演する玉城知事

県は、政府が普天間飛行場の危険性を放置することのないよう、同飛行場の速やかな運用停止を含む危険性の除去を強く求めてまいります。

また、沖縄の基地問題の解決に向け、米国側の理解と協力を求めることが重要であると考えており、沖縄の米軍基地をめぐる諸問題について、訪米し、米国政府、米国連邦議会議員等に対し地元の実状を伝えるとともに、米国ワシントンD.C.に設置した駐在員を活用し、米国内での情報収集及び情報発信、国連との連携や有識者と連携した会議の開催及び連邦議会関係者への働きかけや沖縄への招聘に取り組んでまいります。

米軍基地の整理縮小については、SACO合意の内容とは異なる現在の辺野古新基地建設を除き、既に日米両政府で合意されたSACO最終報告及び再編に基づく統合計画で示された基地の整理縮小の確実な実施のほか、SACO以降の基地の整理縮小の検証及び沖縄の基地負担軽減策の検討のため、日米両政府に沖縄県を加えた3者で協議を行うことを、日米両政府に対し求めてまいります。

また、米軍基地問題に関する万国津梁会議からの提言も踏まえ、県の政策や取組に反映し、沖縄21世紀ビジョンで掲げる「基地のない平和で豊かな沖縄」を目指してまいります。

普天間飛行場をはじめとした返還予定地については、関係市町村等と連携を図り、跡地利用計画の策定を促進します。

戦後処理問題については、不発弾処理の早期解決に取り組むとともに、沖縄戦における戦没者の遺骨収集の加速化を図ります。



厚生労働省による遺骨収集事業

所有者不明土地問題について、抜本的解決に向けた取組の加速化とともに、県民の貴重な財産として有効活用が図られるよう、国に求めてまいります。

### 【沖縄から世界へ、平和の発信】

戦後75年の節目となる今年は、第10回沖縄平和賞の贈賞を実施するとともに、シンポジウムの開催等により、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に力強く発信します。

令和元年度に創設した「ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞」受賞者の活動内容の広報、平和の礎や平和祈念資料館を通じて、沖縄戦の歴史的教訓の次世代への継承に注力するとともに、新たに沖縄戦



ちゅうらうちな一草の根平和貢献賞授賞式

を語り継ぐ活動に取り組んできた戦争体験者に感謝状を贈呈するなど、恒久平和の実現に向けて、取り組んでまいります。

## 第3 「生活分野」—沖縄らしい優しい社会の構築—

### 【地域力の向上・くらしの向上】

地域の課題解決に向けて、ボランティア、NPO活動などへ県民が主体的に参加できる仕組みづくりや、県民や地域組織、企業等の多様な主体が連携した取組を促進してまいります。

民生委員・児童委員の活動環境の改善と充足率向上を図るとともに、適切な福祉サービスが利用できる体制の構築を推進します。

## 【世界に誇る沖縄の自然環境を守る】

SDGs の理念に基づき、自然環境の保全の啓発に努めます。

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産の確実な登録に向け、国等と連携を更に強化し、新たに制定した「沖縄県希少野生動植物保護条例」に基づく希少種の保護や外来種対策など、自然環境の保全に取り組みます。



ヤンバルクイナ

沖縄県自然環境再生指針を踏まえた再生事業の市町村への普及・支援や、白化対策、オニヒトデ対策などのサンゴ礁保全に取り組み、自然環境の保全・再生・適正利用を図ります。

生物多様性の保全上重要な情報収集・調査研究・教育普及の拠点となる「国立自然史博物館」の誘致については、官民一体となった取組を進めてまいります。

絶滅が危惧されるジュゴンの生息状況等の調査を継続し、保護施策の在り方の検討など、希少生物の保全に向けた取組を推進するとともに、犬猫殺処分ゼロから廃止に向け、譲渡の拠点施設を整備し、命が尊重される動物愛護の取組を進めてまいります。

昨年開催した「第43回全国育樹祭」を契機とし、県民一体となった緑化活動をより一層推進する



「全国育樹祭」お手入れ行事(枝打ち)



とともに、亜熱帯の特性を活かした沖縄らしい花と緑の景観形成等を目指し、全島緑化を推進します。

令和元年度に完成した公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場を活用し、産業廃棄物の適正処理を推進します。県内の海岸漂着物の回収処理を推進するとともに、国際的な課題である海洋プラスチック等の抑制に向けた陸域の発生源対策等に取り組めます。



産業廃棄物管理型最終処分場「安和エコパーク」全景

赤土等流出防止対策については、「沖縄県赤土等流出防止対策基本計画」に基づき、農地等の各種発生源対策の強化など総合的な取組を推進します。

## 【歴史と誇りある伝統文化の継承と発展】

首里城の復旧・復興については、有識者による議論や県民の声を踏まえて復旧・復興に係る具体的な取組や工程などを盛り込んだ「復興基本計画」を令和2年度に策定し、1日も早い首里城の復元と首里城に象徴される琉球の歴史・文化の復興に向けて取り組めます。

各地域において大切に受け継がれてきた沖縄（ウチナー）文化の根底をなすチムグクルを育むため、「しまくとうば普及センター」を中核に市町村や教育関係機関等と連携したしまくとうばの普及活動及び人材育成、アーカイブの活用等を推進するとともに、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居など多様で豊かな伝統文化の継承、発展を図るため、後継者育成や基盤強化に取り組めます。

沖縄が世界に誇る伝統文化である空手を保存・継承・発展させるため、指導者・後継者の育成を図り、沖縄空手会館を拠点に「空手発祥の地・沖縄」をSNS等の活用により国内外に強力に発信するとともに、受入体制を強化し、交流人口の拡大を図ります。あわせて、ユネスコ無



2019空手の日記念演武祭

形文化遺産の登録に向けた県民機運の醸成や、沖縄空手国際大会の定期開催等の取組を通じ、沖縄空手振興ビジョンで示す将来像の実現に向けて取り組んでまいります。

令和4年度に沖縄県での開催が内定している第37回国民文化祭については、本県の多様な文化芸術を県内外に発信し、文化振興や観光振興につなげていけるよう準備を進めてまいります。

### 【医療の充実・健康福祉社会の実現】

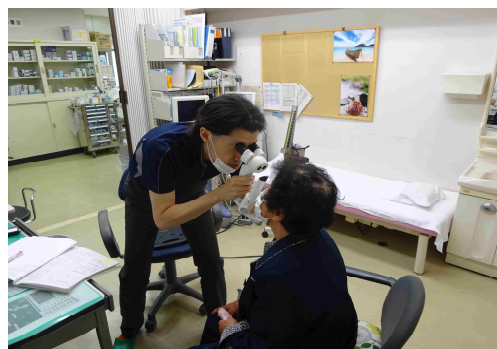
2040年までに平均寿命日本一を取り戻すため、県民の健康意識の高揚や、事業所における働き盛り世代の健康づくりの取組に対する支援など、引き続き、健康長寿復活プロジェクトを推進します。

新型コロナウイルス感染症等、海外で発生する感染症について、国及び医療機関等と連携し医療提供体制の整備に取り組めます。

令和2年に策定した「沖縄県歯科口腔保健推進計画」に基づき、歯科口腔保健対策の強化に取り組めます。

こども医療費助成制度については、通院の対象年齢の拡大を実現することができるよう、引き続き市町村との協議を進めてまいります。

地域医療の強化を図るため、北部、離島地域の医師不足及び県内全域における医師の診療科偏在の解消などに取り組んでまいります。



離島巡回診療



薬剤師の業務風景

薬剤師確保については、薬剤師の需給予測及び県内国公立薬学部設置の可能性等について調査してまいります。

西普天間住宅地区跡地において、国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点の形成を促進します。

障害のある人に対する誤解や偏見等をなくす取組を推進するとともに、手話の普及啓発、発達障害に対する地域支援体制の整備など、障害者の地域生活支援に取り組めます。

生活困窮者への支援については、相談体制の充実及び地域における関係機関とのネットワークの強化に取り組んでまいります。

世代にかかわらず課題となっているひきこもりの問題については、市町村と連携しながら、効果的な調査や支援が行えるよう、その体制づくりに取り組んでまいります。

## 【子育て・高齢者施策の推進】

子どもの貧困対策については、「沖縄県子どもの貧困対策推進基金」を活用した就学援助等の充実を図るほか、国、市町村と連携して、子どもの居場所や貧困対策支援員の活動支援を強化するとともに、県立

高校内の居場所における生徒の就学継続に向けた支援や、小規模離島町村への支援員派遣などに取り組みます。

待機児童の計画的な解消や、多様なニーズに対応した子育て支援、保育サービスなどの充実を図るとともに、市町村と連携し、質の高い幼児教育・保育の提供に取り組んでまいります。

中央児童相談所及びコザ児童相談所に一時保護等の介入対応を行う「初期対応班」を設置し、児童虐待防止対策の強化を図ります。

介護サービスの充実など、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムを深化・推進するとともに、介護人材の確保対策や認知症施策の強化に取り組めます。また、入所待機者の解消に向け、特別養護老人ホーム等の施設整備の支援に取り組めます。



認知症グループホームにおける交流

### 【安心・安全で快適な社会づくり】

人に優しい交通手段の確保に向けて、昨年9月に基幹急行バス「でいごライナー」の運行を開始したところであり、引き続き、基幹バスシステムの構築を推進するとともに、バス運転手確保の取組を支援してまいります。



住環境の整備については、県営南風原第二団地、新川団地等の建替を推進するとともに、民間住宅の省エネ化やバリアフリー化を図るた



め、住宅リフォームを促進します。

高齢者等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援の促進に向けて取り組みます。

我が国において、昨年は、記録的な豪雨や台風などの多くの自然災害に見舞われ、日頃からの防災・減災対策の重要性を、改めて、痛感する年となりました。

近年相次いだ大規模災害の教訓を踏まえ、県民の防災意識の向上と迅速な避難行動の確保を図り、「沖縄県地域防災計画」に定める対応を関係機関が的確に果たすため、国、市町村、民間事業者等と連携した防災訓練を充実・強化するとともに、消防防災ヘリコプターの導入を推進するほか、災害時要配慮者に対する福祉支援体制の充実を図ります。

災害に強い県土づくりに向け、無電柱化の推進、老朽化した道路施設や海岸堤防等の改修、民間住宅、ホテル、病院などの耐震診断及び改修等に対する支援に取り組めます。

安全な水道水を安定的に供給するため、水道施設の計画的な更新や耐震化を推進します。

下水道施設の整備拡張や計画的な更新や耐震化に取り組むとともに、



防災訓練



消防防災ヘリコプター



水道施設の計画的な更新や耐震化の推進

市街地の浸水対策を促進します。

治水・浸水対策、土砂災害対策、高潮対策に取り組むとともに、治山対策による森林の維持・造成を推進し、潮風害の防止、山地災害復旧・予防及び生活環境の保全を図ります。

犯罪の起きにくい安全で安心な沖縄県を実現するため、地域ボランティア団体や関係機関等と連携し、県民に対する適正飲酒の働きかけを含むちゅらさん運動等を推進するとともに、通学路の安全対策を含む子どもや女性、高齢者等の安全確保、少年の非行防止・保護対策に取り組めます。

飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚など、交通ルールの遵守とマナーの向上を図り、交通の安全を確保するための取組を推進します。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の関連行事の開催に備えたテロ等の未然防止対策や国境離島の警備強化に取り組んでまいります。

また、サイバー空間における脅威や暴力団を含む組織犯罪などの県民生活を脅かす様々な事象への的確な対処、犯罪被害者に対する支援活動の充実に向けた取組を推進します。



非行少年の居場所づくり



交通安全教育



テロ対策訓練

DV・ストーカーや性犯罪等の被害未然防止対策を強化するとともに、「沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター」において、24時間365日体制で性犯罪・性暴力被害者を支援します。

また、女性や子どもたちを取り巻く国際的な諸問題の解決に向け、国籍が異なる男女間のトラブルやDV、虐待等の相談・支援体制の強化に取り組みます。

消費者被害の未然防止と早期救済を図るため、市町村相談体制の充実と消費者への啓発等に取り組むとともに、令和4年度の成年年齢引き下げに対応するため、若年者に対する消費者教育を強化します。

## 【離島力の向上】

離島航路及び航空路の交通コストの低減、情報通信格差の是正、離島からの高校進学等の支援など、定住条件の整備に取り組んでいます。

離島診療所への医師派遣、専門医による巡回診療による医療提供体制の確保や離島患者の経済的負担の軽減に取り組んでいます。

離島におけるガソリン価格や水道料金等の生活コストの低減に取り組むとともに、離島航路に就航する船舶建造の支援などにより、交通基盤の整備を推進します。

情報通信については、離島及び過疎地域における陸上の光ファイバー網による超高速ブロードバンド環境の整備を促進するとともに、大東地区における情報通信基盤の高度化を図るため、北大東島への海底光ケーブルの整備を推進してまいります。

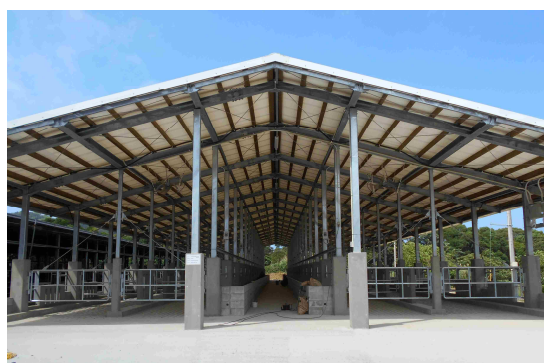


本島と離島の地域間交流の促進  
阿嘉島カヤック無人島体験ツアー

離島の主要産業であるさとうきびや畜産などの農林水産業の生産性向上や、担い手の育成・確保対策、製糖業の経営安定対策、地域の農林水産物を活用した6次産業化などを推進するとともに、黒糖の販路拡大などに取り組んでまいります。



離島の6次産業化(牧場のジェラード)



賃貸型畜舎

肉用牛生産の活性化に向けて、新たな担い手などが畜産経営に取り組むための賃貸型畜舎の整備を推進します。

また、農業用水確保等の農業生産基盤の整備により、離島の農業経営の安定を図ります。

港湾・空港施設の更新整備・機能向上をはじめ、道路・公園などの離島地域の社会基盤整備を推進します。

離島の重要性や魅力に対する認識を深めるため、離島ならではの観光産業の振興や沖縄本島と離島との地域間交流の促進などにより、離島地域の活性化を図ってまいります。



離島港湾 久米島(兼城港兼城地区)

## 【教育振興】

学校教育については、教員の指導力及び学校組織力の向上、授業改善等により、小中学校の学力向上を図ります。



児童生徒との継続的な関わりによる生徒指導の充実を図るため、引き続き正規教員率の改善に取り組みます。

また、教職員が児童生徒と向き合うための時間を十分確保し、質の高い教育を行うことができるよう、学校における働き方改革に取り組んでまいります。

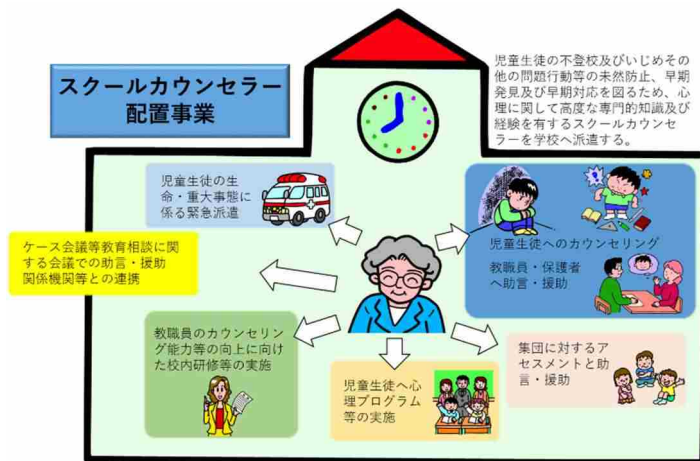
小学校から高等学校までの12年間の学びをつなぎ、自己実現と社会参画を図るキャリア教育の充実に努めてまいります。

共生社会の形成を目指した沖縄らしいインクルーシブ教育システムの構築に向けて、更に研究・検討を進めてまいります。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置等により、いじめ、深夜はいかい等の未然防止などの早期発見及び対応、不登校への早期対応に取り組めます。

また、学校における教育活動全体を通して、薬物乱用防止に取り組むとともに、関係機関、家庭、地域社会との連携を密にし、薬物乱用防止教育の強化に努めてまいります。

沖縄県版「キャリア・パスポート」



欧米やアジア諸国等、海外への短期研修及び海外留学に高校生を派遣するなど、グローバル人材の育成に引き続き取り組みます。

那覇市内への新たな特別支援学校の設置については、引き続き開校に向けて取り組み、障害のある児童生徒の教育の充実を図ります。

水産高校の大型漁業実習船の代船建造については、令和3年の就航に向けて取り組みます。



実習船イメージ図

特色ある教育を実践し、個性豊かな人材育成に貢献している私立学校を支援し、私学教育の充実、多様な人材の育成に取り組みます。

就学援助については、必要とする児童生徒に支援が届くよう、引き続き、制度に関する周知広報に努めてまいります。

また、家庭の経済環境に関わらず、子どもたちが安心して学業に励むことができるよう、住民税所得割非課税世帯及び一定の所得以下のひとり親家庭の高校生のバス通学費無料化に取り組みます。

給付型奨学金の実施など、大学等への進学を支援して進学率の向上を図ります。

大学や専門学校等に進学の意欲がある所得が低い世帯の学生に対し、国と連携して、支援に取り組んでまいります。

また、子どもの健やかな成長を学校・家庭・地域みんなと一緒に育む「やーなれー」運動を推進し、家庭教育支援の充実に取り組むとともに、幅広い地域住民等の参画による学習補助や学校支援、子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりに取り組みます。

新県立図書館が、誰もが気軽に利用でき、県民に親しまれる「知の拠点」として成長・発展できるよう取り組むとともに、離島等図書館未設置町村における移動図書館の実施等により読書環境の充実を図ります。

玉城青少年の家については、新たな施設として、令和4年度の全面開所に向け取り組みます。